

## 競技・審判上の確認

競技委員長 有 野 洋 之  
審判委員長 阿 部 義 之

### 1 競技規則について

- 1) 2026年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。競技はすべて3セットマッチとし、1ボールシステムとする。また、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」、女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

### 2 チームの構成について

- 1) チームの構成は、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手18名以内とし、試合ごとに最大14名の選手をCOMPOSITION MEMBER(構成メンバー)にてエントリーすること。
- 2) 大会申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、代表者会議終了後ただちに競技委員長に届け出ること。
- 3) 各試合のエントリーは、第1試合は試合開始の30分前、第2試合以降は前の試合の第1セット終了までに、定められたCOMPOSITION MEMBER(構成メンバー)をメインアリーナの本部にて確認すること。試合が連続する場合は、試合終了後速やかに本部を訪れること。尚、リベロをエントリーする場合はリベロ欄に番号を記入すること。

### 3 ベンチの着席について

- 1) 試合毎に提出されたメンバー(監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内)のみ認める。外部指導者は当該高等学校長および専門部の承認を得ていること。
- 2) 監督・コーチ・マネージャーは、胸章(監・C・M)を左胸につけなければならない。
- 3) 監督はスコアラーステーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアまでのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、ファーストレフェリーに向かって左側にベンチがある場合、ラインジャッジ(L2)の判定に影響がある場所には立たないこと。
- 4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

### 4 コートワイピングについて

- 1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までクイックモップパーとしてベンチの両側に配置できる。1名は監督席と記録席の間、もう1名はベンチとウォーミングアップエリアの間に配置し、ワイピングを迅速に行う。クイックモップパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。(ユニフォーム以外の統一された服装を着用すること)

2) タイムアウト中、およびセット間にモップを使ってモッピングを行う場合、クイックモップパーが行うのが望ましい。クイックモップパーがいない場合、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

#### 5 リベロプレーヤーについて

1) 正規の競技者とリベロ競技者の人数については、以下のとおりとする。

①登録12名以内の場合、リベロプレーヤーの人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。

②登録13名及び14名の場合、リベロプレーヤーの人数は2名でなければならない。

2) リベロプレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

3) リベロプレーヤーは、チームの他の選手とは明らかに対照的な色のユニフォームを着用しなければならない。2名のリベロの服装は他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストの着用を指示することがある。

4) ユニフォームが12着しかないチームが、14名をエントリーしたい場合、リベロプレーヤーはベストを着用しなければならない。(他の競技者と同じ番号となるため)

5) リベロプレーヤーの交代はラリーの完了後に行うことができる。(ラリーがノーカウントになった場合、ラリーの完了とはならない)

6) リベロプレーヤーが1名しかいないチームでリベロプレーヤーが負傷した場合、ベンチにいる選手をその試合を通してリベロプレーヤーに再登録することができる。ユニフォームを変更できない場合は、ベストを着用しなければならない。

7) 2名のリベロプレーヤーのうち1名が負傷した場合、ベンチにいる選手をリベロプレーヤーに変更することはできない。

#### 6 試合前の練習について

1) 公式練習前、ウォームアップでネットとボールを使うことができる。ただし、近接コートにボールが入らないようボールキーパーを配置すること。

2) 公式練習には構成メンバー以外の登録メンバーも、ボールキーパーとして練習に参加できる。ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみ許される。(ユニフォーム以外の統一された服装を着用すること)

3) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームを妨げないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前でウォームアップを行うこと。

#### 7 試合開始時間について

1) 第1試合のみ開始時刻を定める。それ以降は前の試合終了後、審判委員と競技委員との確認によりプロトコルの開始時間を設定する。当該チームの初戦ならば20分後にプロトコルを開始する。

2) 第2試合以降は公式練習前のウォーミングアップでボールを使うことを認める。ただし、隣接コートにボールが入らないようボールキーパーを配置すること。

3) 同一チームが連続試合となる場合は、前の試合が終了して20分後にプロトコルを開始する。ただし、両チーム合意の場合に限り開始時間を早めてもよい。

4) 2日目決勝リーグは、2次トーナメント戦が終了して30分後にプロトコルを開始する。

## 8 補助役員

- 1) 1日目の第1試合補助役員は以下の通りとする。

第1試合	ラインジャッジ	点示・記録
Aコート	釧路工業	
Bコート	釧路明輝女子，釧路湖陵女子	
Cコート	根室女子，釧路北陽女子	

※1日目の第2試合以降は「勝利チーム」から補助役員8名を出す。

- 2) 2日目以降の補助役員(ラインジャッジ・点示・アシスタントスコアラー)は、予選ブロック・2次トーナメント敗退チームに依頼する。
- 3) 補助役員人数が足りない場合や記録ができる生徒がない場合はその旨を本部に伝えること。

## 9 その他

- 1) ユニフォーム・ナンバーは、シャツと対照的な色と明るさでなければならない。
- 2) 試合中、ボールケースはウォーミングアップエリアまたは壁際へ移動し、救急用品やドリンクなどの物品はベンチ後方へ下げること。
- 3) 使用会場の開場時間に従うこと。第1試合前のウォーミングアップについて、初日は開会式終了後、第1試合の当該チームが優先でコートを使用できる。それ以外のチームはアリーナ内でボールを使用した(ネットを使用しない)練習を10:45までしてもよい。2,3日目は9:30(予定)から第1試合のチームが優先でコートを使用できる。それ以外のチームは9:45までアリーナ内でボールを使用した(ネットを使用しない)練習をしてもよい。